allcinema

メトロポリス（1926）

METROPOLIS

メディア 映画
ジャンル ＳＦ
製作国 ドイツ
色彩 B&W
時間 104分
初公開日 1929/04
公開情報 松竹座＝東和商事

【解説】

Ｆ・ラングが無声映画時代に、２１世紀近未来の大胆な空想を鋭い文明批評の目を持って銀幕上に構築してみせた、ＳＦ映画の金字塔。その世界は、科学の飛躍的な発展の結果、地下に労働者たちが押しやられ、巨大な工場で家畜同然に管理されて作業に従事している一方で、資本家たちは地上でぬくぬくと享楽的生活を送っているーーという設定。労働者たちの住空間は更に地下深くにあり、社長の息子（Ｇ・フレーリッヒ）はそこに降りて、彼らの悲惨な生活を知る。労働者の娘マリア（Ｂ・ヘルム）は、労使間に人間的な絆が皆無であることを仲間に訴え、これがストライキの気運を生む。そこで社長（Ａ・アーベル）はマリアを監禁、彼女そっくりの人造人間を作って事態収拾にあたるが、人造人間は狂い始め（このイメージは夢に見そうだ）、造反を起こし工場の打ち壊しを煽動する……。さて、ここからは恐らく、当時ラングの妻だったＴ・Ｖ・ハルボウ（後にナチのシンパになってラングと離別）の妥協的な脚本のせいもあるだろう、結局この破壊騒動は、労働者の住居街を水浸しにする結果となり、まさに水を注されるように沈静化する。そこで労使協調でことにあたり、社長御曹司とマリアの仲も認められる。これを尻すぼみというのは容易だが、これ以外の決着を求めるのは難しかろう。それより、こうした現実に存在する重要テーマを未来に託し、想像の限りを尽くし、その後多くの模倣を生む、アンチ・ユートピア的ヴィジョンを創出したラングの功績を讃えたい。８４年にハリウッドで、彩色を施し、ジョルジォ・モロダーの音楽をつけた新版が作られたが、そちらは物語性よりも絵を見せることに重点を置いたものである。

【クレジット】

監督	フリッツ・ラング	Fritz Lang	
製作	エリッヒ・ポマー	Erich Pommer	
脚本	テア・フォン・ハルボウ	Thea von Harbou	
	フリッツ・ラング	Fritz Lang	
撮影	カール・フロイント	Karl Freund	
	ギュンター・リター	Gunther Rittau	
音楽	ゴットフリート・フッペルツ	Gottfried Huppertz	
出演	アルフレート・アーベル	Alfred Abel	ジョー・フレーダーセン
	ブリギッテ・ヘルム	Brigitte Helm	マリア
	グスタフ・フレーリッヒ	Gustav Frohlich	フレーダー・フレーダーセン
	フリッツ・ラスプ	Fritz Rasp	
	ルドルフ・クライン＝ロッゲ	Rudolf Klein-Rogge	ロートヴァング

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.